日本共産党南関東ブロック 事務所だより NO. 49

志位和夫

はたの君枝

さいとう和子

しいば寿幸

発行 日本共産党国会議員団
2018年7月 南関東ブロック事務所
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16
斎藤ビル2F TEL 045-324-6516

国会活動報告

首相の名を使い税金食い物に

6月27日党首討論 加計問題など志位委員長が追及

「加計学園がたびたび総理の名を使い、巨額の補助金をかすめ取っていたことは明らか」ー日本共産党の志位和夫委員長は6月27日、安倍首相との党首討論に立ち、加計学園疑惑を追及しました。志位氏は、安倍首相の「腹心の友」が経営する加計学園が、獣医学部新設で優遇を受けるために首相の名をたびたび使い、首相秘書官が深く関与し、補助金が大幅増額となったことを、愛媛県文書などの否定できない事実を突き付けて首相の責任を追及しました。

加計孝太郎理事長が19日の記者会見で、愛媛県文書が明記する2015年2月25日の安倍首相と加計理事長との面談について、「事を前に進めるため」の学園職員の「作り話」だったと釈明した事について、志位氏は、「信じがたい釈明だが、総理の名を使ったのは『事を前に進めるため』だったという言明は、きわめて重大だ」と述べました。そのうえで、「現実にどう『前に進んだ』か」と問いかけ、国家戦略特区への獣医学部新設の認可が進んだだけでなく、愛媛県と今治市の加計学園への補助金が大幅に増えたという事実を突きつけました。

マンションに隣接する南武線の騒音 はたの議員ら調査

通過する列車の騒音を確認する(手前から)小堀、はたの、石田、あさかの各氏=6月28日川崎市高津区

はたの君枝衆院議員は6月28日、神奈川県川崎市高津区のマンションで、JR南武線電車の騒音問題の現地調査を行いました。あさか由香参院選挙区予定候補と、川崎市議団の石田和子議員、小堀祥子市議候補が同行しました。

このマンションはJR武蔵溝ノ口駅近くに位置し、南武線の線路に隣接しています。相談を寄せた住民の案内でマンション敷地内で調査しました。目の前の線路に切り換えポイントがあり、激しい騒音が発生することを確認。屋外では会話もできないくらいの騒音でした。午前5時前の始発から終電まで続きます。現地調査の後、住民3人とともにＪＲ東日本横浜支社を訪れ、対策を求める要望書を提出しました。

台風で国有地が崩落、対策を～千葉県鋸南町

千葉県鋸南町の旧県道に面する斜面が昨年の台風で崩落した問題で、はたの議員らは7月3日、国交省から対応について説明を受けました。崩落場所は、吉永小百合さんの主演映画「ふしぎな岬の物語」の撮影場所「音楽と珈琲の店 岬」の目の前にある、旧県道の斜面です。しいば寿幸参院比例予定候補、浅野ふみ子参院選挙区予定候補、さいとう和子前衆院議員が同席しました。はたの氏は「住居でもあり放置されているのは問題だ。国として対応すべきではないか」と求めました。

左から、はたの議員、しいば氏、浅野氏、さいとう氏

教科書採択の運用改善を 党横浜市議団が文科省に求める

横浜市議団の古谷靖彦、白井正子、宇佐美さやかの３市議は7月3日、はたの議員らとともに教科書採択の運用の改善を文部科学省の担当者に求めました。しいば寿幸氏、あさか由香氏が同席しました。現在2019年度使用の中学校道徳教科書の採択の手続きが行われていますが、18行政区147校の横浜市では教科書見本の数が足りず、閲覧しにくいとの意見が上がっています。

党市議団は、現行の基準のままでは「教科書について幅広く知ってもらうため」（同省）という展示会の目的を果たせない実態があると指摘。はたの氏は「実態に即した対応も検討してほしい」と話しました。

(左2人目から) はたの議員、しいば氏、あさか氏、古谷、白井、宇佐美各横浜市議=7月3日国会内

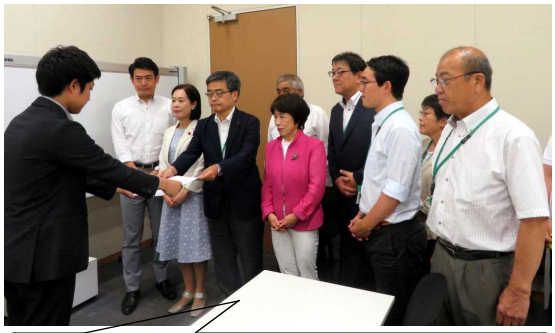
オスプレイいらない千葉県民集会 5野党1会派が訴え 2200人参加

陸自が購入するオスプレイ5機が今秋にも木更津駐屯地に暫定配備されると報じられ、配備に反対する県民集会が7月1日、開催されました。全県から2200人が参加し、5野党1会派の代表があいさつしました。はたの議員は「市民と野党の共闘で配備を止めよう」と訴え、立憲民主党、自由党も配備反対を表明。社民党、新社会党、市民ネットワーク千葉もあいさつし、緑の党からメッセージが寄せられました。しいば氏、浅野氏、さいとう氏、丸山慎一、寺尾さとし両県議が参加しました。

厚木 オスプレイの訓練中止を求めよ

米軍CV22オスプレイが周辺自治体への事前通告なく米海軍厚木基地に飛来・訓練した問題で、党神奈川県委員会・同地方議員団、市民団体は7月5日、防衛省に対し米側に訓練中止を求めました。はたの議員、しいば寿幸氏が同席しました。

要請団は、2012年の日米合同委員会合意に反する「人口密集地上空の飛行」「基地外でのヘリモード飛行」が、この間繰り返し行われたことを写真で示し「防衛省として調査し、米軍に抗議してほしい」と訴えました。防衛省側は「住民の安全が守られる形で米軍が運用している」と述べました。



左からしいば氏、はたの議員、藤井かつひこ・君嶋ちか子各県議、松本春男・上田ひろゆき綾瀬市議、さとう大地・宮応芙美子大和市議、松本正幸海老名市議の各氏。

はたの氏は、「人口密集地で事故が起きてからでは遅い。訓練は中止すべきだ。また、基地外で危険なヘリモードで飛んでいないか、調査・検討を」と迫りました。

しいば氏は米軍の自治体への事前通告が無いことを問題視し、「自治体への事前通告が無くなってきている。米軍の運用の問題ではなく、日本の主権の問題だ」と批判しました。

山梨・北富士演習場　英軍との軍事訓練 中止して欲しい

英軍と陸自が今秋、陸自北富士演習場で共同訓練を計画している問題で山梨県民から「中止して欲しい」との声が寄せられています。はたの議員が防衛省に対して、①北富士での実施は決まっているのか、②米軍以外の使用を想定していない使用協定についてどう扱うのか、等をききました。防衛省は、「計画は事実だが、訓練内容、具体的な訓練場所等については検討中であり、仮定の話はできない」と、具体的な回答をしませんでした。県と地元3自治体（富士吉田市、山中湖町、忍野村）が国と交わした同演習場の使用協定は、自衛隊と米軍以外の使用は想定していません。